

## 平成 30 年度 第 1 回学部評価会議報告

### ■概要

日時：平成 30 年 6 月 7 日(木) 19 : 00～20 : 40

場所：株式会社マイツ 東京事業所

### ■学部評価会議 参加者

池田 博義 氏

マイツグループ 代表取締役統括社長

※以下、五十音順

浅川 潤一 氏

千葉商科大学付属高校 教頭

有沢 正人 氏

カゴメ株式会社 執行役員 CHO

親泊 寛昌 氏

東京都立千早高等学校ビジネスコミュニケーション科 ビジネス科 主幹教諭

五島 勝也 氏

バニラ・エア株式会社 代表取締役社長

須田 秀伸 氏

西武台千葉中学校・高等学校 校長

関口 徹 氏

株式会社ジェイコム市川 代表取締役社長

宮内 史絵 氏

株式会社フィナンシャル・エージェンシー 業務本部 業務ソリューション部 部長

森山 育子 氏

一般社団法人墨田区観光協会 理事長

## ■本学関係者

宮崎 緑 国際教養学部 学部長

久保 裕也 教授

高橋 百合子 教授

渡辺 恭人 教授

施 敏 准教授

常見 陽平 専任講師

ムズラックル ハリト 専任講師

本学関係者より、学部の教育成果・就職活動状況について報告を行い、参加者より学部の取り組みについて、下記のご質問、ご意見やご助言をいただきました。国際教養学部では、この度いただいたコメントを教授会で共有し、今後の教育活動に活かしていきます。

➤ディスカッションを通じて学びを深めていくことができているのは良い。

海外の方と働くと仕事の取り組み方に驚かされることがある。自らのスキルを高めること、自分を見失わないことが大事になっていく。

➤大学では幅広い分野に触れ、問題意識を持ち、PDCA を回すスキルを身につけることが大事である。すぐに国際舞台に出ることを目指さなくても、いずれグローバルなフィールドに出た時に国際教養学部での学びが活けると良いのではないか。

➤学生は自身の考え、軸を持って就職活動に取り組んでいるように感じた。学部のキャリア教育、就職活動における指導は良い方向に働いている。

➤企業の選考ではエントリーシートを重要視している。学部でも現状よりさらに重点的に指導を行うべきではないか。

新卒でグローバルな仕事で即戦力として活躍することは難しいように思う。社会人としてのスキルを身につけ、さらに海外経験を積み、ステップアップしていくのが自然ではないか。

エントリーシート添削やグループワーク・面接指導により多くの教員が関わることで、学部教育との一環性が生まれ、質が向上するのではないか。

➤海外短期研修の報告会などで多くの学生を見るなかで、貴重な経験をしているにも拘わらず、うまく表現できていない学生がいるように感じる。自己理解、仕事理解を深めていくためにも教員が積極的に関与し、学生自身の経験を引き出すようにしてはどうか。

➤企業がグローバル化するなかで、日本企業で働く場合にも国際教養学部での学びや留学経験を活かすことができる。教育活動を通じて経験したことを振り返る場を充実させると良いのではないか。

社会で活躍するためにも、自身の判断で物事を決定できる学生が育つと良いと感じている。

➤教育活動を通じて経験したことを人に伝えられること、活用できることが大事である。学び得た知識や経験を大学内に限らず、地域や企業などとの関係を持ち、共有していく活動に取り組んではどうか。

➤高校までに身についた学習に取り組む姿勢が大学での学修においても影響しているように感じる。高校での学習状況を踏まえ学生指導を行うことが良いのではないか。大学での学びが多様化するなかで、どのように学生の力を伸ばしていくかが重要になってきている。

➤経験から学んだことを伝える力が大事であるが、最近の学生には文章の構成が苦手であまりうまく表現できないことが多い。教員が関わりながら経験したことの振り返り、学んだことを引き出すことで大事ではないか。

最近の学生にはチャレンジすることを避ける傾向が見られる。就職活動においてもそのような傾向が見られることが予測されるので、このことを踏まえ指導を行うことで、より学生に合った就職活動が行えるのではないか。

以上